


応報

たまかわ

'92
11
No. 315



(10月18日、第21回 玉川村少年剣道大会・関連記事9ページ)

士気旺盛に

玉川村消防団
秋季検閲



玉川村消防団の秋季検閲が10月25日(日)村民グラウンドで行われ、団員270人が参加しました。
当日は秋晴れにも恵まれ、団員は士気旺盛な姿を披露。機械器具点検や通常点検などを機敏に行いました。
また、雨のため2年間行われなかった小隊訓練競技も今年初めて実施。第3小隊が消防団幹部OBから贈られた優勝旗を手に入れました。

小隊訓練の成績は次のとおり
優勝

第3小隊(岩法寺・竜崎分団)

準優勝
第4小隊(南須釜分団)

優良指揮者
円谷兼一(南須釜分団)

優良第1分隊長
宗形光雄(南須釜分団)

優良第3分隊長
小林吉弘(竜崎分団)



緊急出動の スピードアップ

須賀川消防署玉川派出所を開設

須賀川消防署玉川派出所が玉川村大字北須釜の旧タバコ収納場跡に開設されることになり、このほど起工式が行われました。起工式には関係者ら20人が出席。須賀川地方広域圏消防組合管理者の高木博須賀川市長と施工者代表の佐藤昌三共栄建設工業社長がクワ入れ、車田次夫村長らが玉ぐしをささげて工事の無事完成を祈りました。
玉川派出所は鉄筋コンクリート平屋建ての庁舎と鉄骨造りの

車庫合わせて285・5平方メートルで、来年3月の完成を目指します。
当面は4月から須賀川消防署員4人がポンプ車1台に乗って来所し、毎日午前8時30分から午後5時まで勤務することになっています。
福島空港の開港や道路事情の変化など、災害の多様化が予想される中で派出所の果たす役割は、今後益々大きくなると思われます。



現地で行われた起工式



成人おめでとう

平成5年の成人式を来春1月15日(成人の日)に、村就業改善センターで行います。村内に住所がある人で該当する方は次のとおりです。ここに名前が載っていない方、ふるさとで成人式を迎えたい方は、12月21日までに村公民館☎57-3101内線62番にお申し込み下さい。(名簿は10月末現在です。)

- 川 辺(9人) 小針洋美・須藤金一・小針知洋・鈴木幸江・矢吹真行・味原一夫・前田由美・田子健司・三瓶 勉
- 蒜 生(2人) 曲山レイコ・曲山さとみ
- 小 高(10人) 添田陽子・沖田直美・木田美紀・矢吹陽子・高原 登・関根 勲・溝井進一・小針竜哉・高原由加里・石井春美
- 中 (9人) 高林清美・遠藤 剛・小針由理・小林和男・駒木根 勉・小針常弥・小針正好・吉田正弘・石井和男
- 岩 法 寺(9人) 大竹進一・伊藤隆子・倉鎌秀志・増子治・大竹章子・大竹義紀・草野嘉重・大竹美貴・佐久間祐子
- 竜 崎(11人) 三本松明美・小野秀樹・上野久美・小針光博・佐藤多津江・橋本晴江・河野真貴・小林元彦・石井清信・小林千春・小林英夫
- 南 須 釜(10人) 大木伸一・塩澤みよこ・飯島夏枝・小原三工子・小原久典・吉村 博・大和田広美・関根和宏・阿部善四郎・近内幸子
- 北 須 釜(14人) 塩澤信男・榊枝輝一・阿久津まゆみ・佐久間理佳・榊枝恵美子・渡邊広通・矢吹和恵・野口庄蔵・鈴木明美・矢吹昌穂・榊枝聡・須田 勉・関根良仁・小針利枝子
- 吉 (4人) 須釜吉彦・有賀力ツ子・有賀由美子・須釜美代子
- 山 小 屋(1人) 松山さおり
- 四辻新田(2人) 塩田博幸・石井孝子



ふくしま駅伝 ゼッケンは **74**

11月22日(日) 午前8時5分スタート

自分の力を信じて走りぬけ

11月22日(日)白河市から福島市までの101キロの区間を激走する第4回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会に、玉川村は昨年初出場です。玉川村は昨年初出場で64位と健闘しましたが、今年は2回目の出場というところで練習量も豊富。より上位への進出が期待されます。ゼッケン74を胸に、玉川村の代表として一生懸命走る選手たちを、村民みんなで応援して下さい。全コースと出場選手を紹介します。



鈴木 篤さん (竜崎)



上野一徳さん (竜崎)



小針和彦さん (川辺)



角田重成さん (中)



曲山ひとみさん (蒜生)



草野敏史さん (岩法寺)



小針一志さん (中)



渡辺 守さん (北須釜)



武田康雄さん (岩法寺)



小林浩二さん (竜崎)



小林祐子さん (中)



小林路子さん (中)



監督・小針孝一 (村社会教育指導員)



コーチ・橋本憲一 (派遣社会教育主事)



鈴木悦美さん (吉)



水野 寿さん (中)

補欠選手

玉川村選手団補員

- 大越 紀幸
- 大野 晴子
- 大野 久美子
- 塩田 百恵
- 小林 喜美
- 有賀 智子
- 石井 紀子
- 小林 智和
- 高原 登紀子
- 車田 裕器
- 榊枝 裕子
- 鈴木 真理子
- 矢部 克也
- 佐久間 玉枝
- 遠野 志津子
- 小針 誠
- 石森 四郎一



近内信和さん (吉)



倉鎌伸一さん (岩法寺)



溝井利一さん (南須釜)



小針仁一さん (中)

「家庭の日」作文コンクール入賞者

小学校5・6年生の部

賞別	学校名	学年	氏名	表題
最優秀	玉一小	6	車田宗隆	めざせ日本一
最優秀	川辺小	6	円谷春美	家族の一員として
優秀	川辺小	5	鈴木裕美子	ありがとうお母さん
優秀	玉一小	6	首藤勝也	わが家の大事件
優秀	川辺小	6	須藤尚美	母の手
優秀	玉一小	5	大竹恵美	わたしの家族
優良	玉一小	5	高林桜子	みんなが集まる日
優良	川辺小	5	矢部順子	いつもわが家は家庭の日
優良	須釜小	5	矢吹千夏	私の協力
優良	須釜小	5	大越翔子	尾瀬への家族旅行
優良	玉一小	6	小針綾	母の徹夜
優良	川辺小	6	田子真由子	快くむかえてあげられる
優良	須釜小	6	八代貴子	私の家庭の日

小学校1・2年生の部

賞別	学校名	学年	氏名	表題
最優秀	玉一小	1	石井裕人	あかちゃんがうまれた
優秀	須釜小	1	鈴木由喜枝	あたらしいすいそう
優秀	川辺小	2	小木智美	やさしかったおじいちゃん
優良	玉一小	1	溝井幸恵	かぞくりょう
優良	川辺小	1	矢吹澄江	なつやすみのおもいで
優良	玉一小	2	真弓英樹	たのしかった花火
優良	玉一小	2	高原愛美	わたしの家族
優良	川辺小	2	大和田聖子	かぞくぜんいんのこと
優良	須釜小	2	石森裕美	かぞくで魚つりへ
優良	須釜小	2	塩澤義寛	キャンプ

小学校3・4年生の部

賞別	学校名	学年	氏名	表題
最優秀	川辺小	3	圓谷美香	わたしのお手つだい
優秀	玉一小	3	滝口啓史	みんなでじまんでできるもの
優秀	須釜小	3	鈴木愛子	おじいちゃんと牛
優良	玉一小	3	吉田考良	おかあさんのくつあらい
優良	川辺小	3	須藤愛子	海に行ったこと
優良	須釜小	3	小原和也	おほかそうじ
優良	玉一小	4	大和田恵	もしもおばあちゃんがいたら
優良	玉一小	4	車田三枝子	わたしの家族
優良	川辺小	4	山崎嘉子	日曜日の朝ごはん
優良	川辺小	4	川崎円	家庭の日
優良	川辺小	4	小針千恵子	料理作り
優良	須釜小	4	石森希美	お母さんとけんかしたこと
優良	須釜小	4	石森優子	あんちゃんのつって来た魚

中学生の部

賞別	学校名	学年	氏名	表題
最優秀	泉中	3	小林路子	祖父に語る
優秀	須釜中	1	大野香里	手作りうどん
優秀	泉中	2	鈴木美紀	夏の家族旅行
優秀	泉中	3	湯澤光樹	芽生えた家族の協力
優良	泉中	1	小針智之	家族の肖像
優良	泉中	1	小林恵	心のきずな
優良	須釜中	1	関根直子	夏休みに始めたこと
優良	須釜中	1	有賀京子	お手伝い
優良	須釜中	2	小原優	家族の心
優良	須釜中	2	草野京子	私の父
優良	泉中	3	張本福蓮	祖父に学ぶ
優良	泉中	3	関根仁	家族のすばらしさ

一般の部

賞別	職業	氏名	表題
優秀	公務員	大越専	家族ふれあい尾瀬の旅

「家庭の日」作文コンクール入賞者

次の日から、一ヶ月後に控えた校内マラソン大会に向け、全員が朝の練習を開始しました。太って走ることが苦手な彼女に、「いいか、苦しくなったら呼吸法をかえろ。吸う吸う、吐く吐くだぞ。」腕を振れば、足は前に出るから。」とアドバイスする男子。彼女にかけ声をかけたり、

一緒に走ったり、男女の別なく、励ましの輪はどんどん大きくなっていきました。

そして、マラソン大会当日。スタートして二キロ。いよいよゴールへの長い坂道にかかります。「ホラ、ラスト。」と次々と励ましの声がおこります。息は苦しく胸はもうはりさけそう。足は前に出ず、力との戦いが続きます。その中で、あえきながら走る彼女。その彼女が辛く苦しいこの坂道で何と三人を追い抜いたので。彼女のがんばりに、クラスの中がわきあがり、拍手と歓声があがりました。

彼女は、マラソンを終えたあと、みんなに「ありがとう」と笑顔で言いました。この笑顔は、私たちが、よいクラスへの一歩を踏み出したあらわれといえるでしょう。

委員長のひとことが、私たちには、「クラスとは何か。仲間とは何か。」を考えさせてくれました。

私たちは、中学生。これからはいろいろな失敗を重ねることでしょうが、お互い友人のよさを認めあい、助け合って、真の良い学級をつくりあげていきます。

感動を

ペンを伝えます



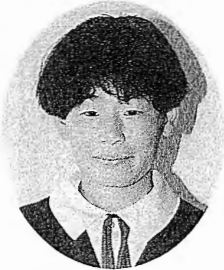
「少年の主張」作文コンクール入賞者

賞別	学校名	学年	氏名	表題
最優秀	泉中	2	黒須紀子	いさかいの中から
優秀	泉中	3	小針善誠	14才の涙
優秀	泉中	3	多田智博	誇りを持つ
優秀	須釜中	2	大野晴子	非行に走る原因
優秀	須釜中	3	小原英男	自由とは何か
優良	須釜中	1	境田広中	「はく」の決意
優良	須釜中	2	有賀秀和	ちよとした心がけで
優良	泉中	1	高林和弘	こんなクラスを
優良	泉中	1	須藤陽弘	スクラムの意味
優良	泉中	3	石井忍	私が考えること

玉川村青少年育成村民会議が主催した第7回「少年の主張」作文コンクールと第8回「家庭の日」作文コンクールの表彰式が、10月16日村就業改善センターで行われました。

このコンクールには村内の小・中学生全員が参加し、家族とのふれ合いや自分の体験などからの感動をペんに伝えたものです。入賞者と題名は次のとおりです。

黒須さんは県大会でも優秀賞に



「いさかいの中から」

村の「少年の主張」で最優秀賞に選ばれた黒須紀子さんは、県大会にも出場。堂々と意見を発表し見事、優秀賞に入りました。黒須さんの作品を紹介します。

学校は、私たちの生活の大半を過ごす大切なところ。誰にとっても安心して過ごせる場所であり、悩み、協力しあいながら、他人との心の痛みを感じられる人間として成長して行く場であればなりません。そういう学級こそ真の良い学級と言えるのです。

私たちがそんなクラスに一歩近づけるようになったのは、五月の短学活の時間がきっかけでした。

その日、言葉がはっきりせず、行動も遅く清潔感に欠け、男子から何かと敬遠されている彼女が、明日の授業の予定を話し始めたのです。つかえたり、言葉が抜けたり、何度度も間違えうため、いらいらを感じた数人の男子が、

「さしたの、みんな他人のせいにしてるけど、見て見ぬふりをしていたばかたちを責めたいだろか、他人のせいにするのは卑怯じゃないか。」と言ったのです。この言葉はクラスの一人一人の胸に鋭く突きさりました。集団の一員としての責任が、この時、各自に問われたのです。

静けさの後「バラバラなのよ、クラスが。」「勝手なことやってたしな。」「彼女、つらかったらうな。」「何とかしなくちゃ。」と、めんどろなことは聞わりあいたくない、と見て見ぬふりをし、責任を他人に転化しようとしていた一人一人が、やっと他人の心の痛みを感じ、自分たちの生活を改めなければならぬという気がなったのです。

次の日から、一ヶ月後に控えた校内マラソン大会に向け、全員が朝の練習を開始しました。太って走ることが苦手な彼女に、「いいか、苦しくなったら呼吸法をかえろ。吸う吸う、吐く吐くだぞ。」腕を振れば、足は前に出るから。」とアドバイスする男子。彼女にかけ声をかけたり、

一緒に走ったり、男女の別なく、励ましの輪はどんどん大きくなっていきました。

そして、マラソン大会当日。スタートして二キロ。いよいよゴールへの長い坂道にかかります。「ホラ、ラスト。」と次々と励ましの声がおこります。息は苦しく胸はもうはりさけそう。足は前に出ず、力との戦いが続きます。その中で、あえきながら走る彼女。その彼女が辛く苦しいこの坂道で何と三人を追い抜いたので。彼女のがんばりに、クラスの中がわきあがり、拍手と歓声があがりました。

彼女は、マラソンを終えたあと、みんなに「ありがとう」と笑顔で言いました。この笑顔は、私たちが、よいクラスへの一歩を踏み出したあらわれといえるでしょう。

委員長のひとことが、私たちには、「クラスとは何か。仲間とは何か。」を考えさせてくれました。

私たちは、中学生。これからはいろいろな失敗を重ねることでしょうが、お互い友人のよさを認めあい、助け合って、真の良い学級をつくりあげていきます。



第21回玉川村少年剣道大会が玉川勤労者体育センターで、村内と周辺町村の小・中学生160人が参加し行われました。選手たちは、日頃の練習の成果を発揮し熱戦を展開。館内には、子供たちの気合いの入った声が響き渡っていました。試合結果は次のとおり

※団体の部
優勝 近津スポーツ少年団(棚倉町)

第21回 少年剣道大会

剣の心は己の魂



- 準優勝 須釜少年剣友会A
- 第三位 玉川少年剣友会A
- 〈中学生男子〉
- 優勝 尚武館(矢吹町)
- 準優勝 泉中A
- 第三位 古殿中
- 〈中学生女子〉
- 優勝 近津スポーツ少年団(棚倉町)
- 準優勝 須釜中
- 第三位 古殿中

※個人の部

- 〈小学生〉
- 優勝 小浜真伯(近津スポ)
- 準優勝 金沢克美()
- 第三位 栗原裕也(石武館)
- 石川町
- 〈中学生男子〉
- 優勝 館 眞一(石武館)
- 準優勝 下重直也(近津スポ)
- 第三位 湯沢康太(泉中)
- 〈中学生女子〉
- 優勝 斎藤直子(近津スポ)
- 準優勝 金沢良子()
- 第三位 野中広子()

おごそかに

戦没者追悼式



日清、日露、太平洋戦争で犠牲となった村内戦没者223名の追悼式が村体育館で行われ、遺族をはじめ来賓多数が参列しました。全員が戦没者に黙祷をささげ、はじめに、車田村長が「現在の豊かな生活は戦没者の方々の犠牲と、残された家族の努力によるもの。遺志に報いるためにも最善の努力をし、二度と悲しみを繰り返さない決意を誓いたい」と式辞を述べました。その後、遺族らによって献花などが行われ、戦没者の冥福を祈りました。

秋晴れの中、元気にプレー

第3回石川地方身体障害者スポーツ大会



紅葉が山々を染める秋晴れの玉川村民グラウンドで、石川地方身体障害者スポーツ大会が開かれました。大会には、玉川村をはじめ石川町、浅川町、平田村から選手が参加し、10種目の競技を楽しみました。結果は地元玉川村が総合優勝しました。この大会は、身体障害者福祉会石川支部が主催し、毎年行われています。



高原フクさん(84才)が初優勝

玉川サービスチェーンゲートボール大会



第4回玉川サービスチェーンゲートボール大会が村民グラウンドで開かれました。大会には、日頃からゲートボールに親しんでいる人たち103人が参加し、特別ルールで競技を行いました。その結果、栄えある優勝者は高原フクさん(84才)でした。入賞者は次のとおり。優勝 高原フク・準優勝 高林健代・第三位 高原イネ・第四位 白旗保喜・第五位 矢吹初代・第六位 鈴木シゲ子・第七位 高林ツル・第八位 草野勇蔵・第九位 車田源・第十位 草野康次郎

来春3月開港の福島空港に最も近い村立泉中学校で第10回目を数える文化祭が開かれました。この中で2年生が取り組んだテーマは「福島空港」。なぜ福島空港が玉川村にできたか？ フライト農業では何を空輸するのか？ 飛行機が飛んだときの騒音はどの位か？ など、中学生のみならず住民が関心を持っている問題などを真剣に考え、模造紙などをつかって発表。特に騒音を考えるコーナーでは、実際に騒音計をつかって航空機の音の大きさを体感でき、多くの観覧者が訪れていました。

「福島空港」もテーマに

泉中学校文化祭





■著者紹介■

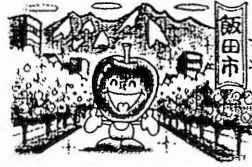
萩原 茂裕 (はぎわら しげひろ)
1929年北海道旭川市生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。経営コンサルタント時代から地域開発・ふるさとづくりを手がける。現在、「日本ふるさと塾」を主宰し、まちづくりのプランナーとして、数多くの地方公共団体の地域づくり基本計画、実施計画などの策定に携わる。蓮沼門三社会教育賞受賞。著書に「手づくりのふるさと」、「日本人とまちづくり」、「レッツ・ラブ運動の展開」、「第四の教育～ふるさと教育～」などがある。

子供や孫への「贈り物」、お互いの力でまちづくり ⑬

「第四の教育」を進めよう ⑭

いま、このまちを訪れる人は、まず美しく続くリング並木に目を奪われるはず。そして、朝夕に、ほうきを持った中学生たちが、街路の清掃をしている姿にびっくりすることでしょう。これには、実は次のような物語が秘められているのです。戦後の混乱がまださめやらぬ昭和二十一年、そして二十二年と、飯田市は大火に見舞われ、市街地の約八割を焼つくされた。そこで、市は、今後の火災の事態に備えて、市街地を東西南北に貫く幅二十五メートルの広い道路をつくりました。まちの復興に、一生懸命に立ち向かう大人たちの姿は、子供たちの心を知らず知らずのうち

まちの復興に生徒会が立ち上がる



長野県を縦断する天竜川ぞいに、人口約九万人の飯田市があります。いま、このまちを訪れる人は、まず美しく続くリング並木に目を奪われるはずです。そして、朝夕に、ほうきを持った中学生たちが、街路の清掃をしている姿にびっくりすることでしょう。これには、実は次のような物語が秘められているのです。戦後の混乱がまださめやらぬ昭和二十一年、そして二十二年と、飯田市は大火に見舞われ、市街地の約八割を焼つくされた。そこで、市は、今後の火災の事態に備えて、市街地を東西南北に貫く幅二十五メートルの広い道路をつくりました。まちの復興に、一生懸命に立ち向かう大人たちの姿は、子供たちの心を知らず知らずのうち

に動かしませんでした。東中学校での生徒たちも、自分たちには何かできることはないかと考えました。「街路樹にリングの木を植えよう」学友会(生徒会)で意見がまとまりました。学校側でも賛成し、生徒たちは、市役所に陳情に行きました。だが、「中学生の手では不可能だ」などの理由で断られてしまいました。それでも生徒たちはあきらめず、再度の陳情で、とうとう助役の心をとらえました。心ないだれかがリングの実を盗む

さっそく生徒たちの手で緑化部がつくられ、リングの栽培の研究からスタートし、苗木の育成に取り組みました。そして一年後、四十本のリングの木を植えました。生徒たちは交代で、雨の日もあらしの日も、リング並木のお守り続けました。しかし、リングの木は二十本しか生き延びませんでした。生徒たちは、また木を植えました。その努力が報われ、昭和三十年春、四十九個の小さな実

をつけたのです。秋になり収穫も近づいてきました。ところが、リングの実はいくつも減り、また十個減りと、とうとう最後は、たったの五個になってしまいました。心ないだれかが、盗みとったのでした。しかし、リングの実をとらない、美しい心の市民がたくさん住むまちをつくりたい。生徒たちの人を信頼する誠実な心と活動は先輩から後輩へ、そして市民へと、しっかりと受け継がれていきました。いま、飯田市の大通りの真ん中に、約四百メートル、リング並木は、三十余年の風雪に耐えてどっしりと立ち並んでいます。そして、いまでは、リングを盗む者はだれ一人としていません。たわわに実るたくさんさんのリングの実は、このまちに住む人々に、ふるさとを愛し、お互いを信じ合うことの尊さを、無言のうちに語りかけているようです。

をいただいたので、秋になり収穫も近づいてきました。ところが、リングの実はいくつも減り、また十個減りと、とうとう最後は、たったの五個になってしまいました。心ないだれかが、盗みとったのでした。しかし、リングの実をとらない、美しい心の市民がたくさん住むまちをつくりたい。生徒たちの人を信頼する誠実な心と活動は先輩から後輩へ、そして市民へと、しっかりと受け継がれていきました。いま、飯田市の大通りの真ん中に、約四百メートル、リング並木は、三十余年の風雪に耐えてどっしりと立ち並んでいます。そして、いまでは、リングを盗む者はだれ一人としていません。たわわに実るたくさんさんのリングの実は、このまちに住む人々に、ふるさとを愛し、お互いを信じ合うことの尊さを、無言のうちに語りかけているようです。

信じて合うことの尊さを物語る
そして、いまでは、リングを盗む者はだれ一人としていません。たわわに実るたくさんさんのリングの実は、このまちに住む人々に、ふるさとを愛し、お互いを信じ合うことの尊さを、無言のうちに語りかけているようです。



玉川村少年剣道大会より

くらしの情報

「国の教育ローン」の概要

Table with 6 columns: 利用いただける方, 融資金額, 利率, 融資期間, 使いみち, 返済方法, 保証, 申込窓口. Contains details about the National Education Loan program.

戦後強制抑留された皆さんへ

平和記念事業特別基金では、戦後、旧ソ連邦またモンゴル国の地域において強制抑留された方、または、その遺族に内閣総理大臣名の慰労品(書状・銀杯)を贈呈しています。また、これらの方々のうち年金恩給や公務員の共済年金などを受給されていない方には、慰労金(10万円)が支給されます。請求期限は平成5年3月31日までになっています。詳しくは役場住民課まで

登記手数料が変わります

登記手数料令の一部改正により平成5年1月1日から登記簿の閲覧、謄本、抄本等の手数料の額が次のとおり改定されます。登記簿の閲覧 300円→400円 謄本・抄本 600円→800円 詳しいことは、最寄りの法務局の窓口でおたずね下さい。(福島地方事務局)

愛をありがとう

10月26日の献血者は93人でした。ご協力に感謝いたします。(太字は400ml献血者) 福島双羽電機(株)(18人) 大中茂喜 有賀冬 秋田秀男 草野代道 坂崎昭 松川勝徳 中島敏光 本田剛 根本志朗 小林タツ子 新國剛男 小出真須釜春美 石森とよ 岩谷共利 金沢政彦 稲川とく子 添田晴彦 駒木根工業(株)(13人) 佐久間昌徳 小林梅子 水野勝義 熊田栄子 矢部重蔵 吉田義頭 石井紀男 大竹いち子

- 南條玲子 真野目誠 小林和良 森百合子 小針きみえ 片山コム(株)(8人) 吉村時子 藁萱秀和 阿部光吉 大野武彦 矢部将徳 矢部忠幸 大野忠春 近内源吉 須釜農業協同組合(11人) 塩沢直一 草野光徳 国井正喜 矢吹キミ子 石森八重子 石森秀子 大越健一 瀬谷洋子 瀬谷ゆみ 八木喜孝 円谷シゲ子 玉川畜産センター(13人) 中山昇 石森三勝 石森博信 佐久間昇 渡辺英雄 石森定吉 宗形菊男 石森代志子 円谷房夫 須田正行 大越利男 阿部金四郎 石森三男 玉川村役場(25人) 塩沢邦章 国井正四 塩田敦 車田ヨシ子 石森春男 三吉隆之 石井雅夫 草野義房 大野一郎 曲山英夫 溝井陳彦 熊田富一 鈴木孝 野口サツ子 久保木徳雄 西川美枝子 増子貞美 小針康敬 小針善栄 曲山知賀子 丹内一彦 曲山道子 石井春美 吉田正 溝井康夫 次の方々は成分献血者です 矢部玄幸 森博 溝井浩一 小針武彦 草野正博

生活用具の給付事業
村ではおむね六五才以上の寝たきりや一人暮らしのおとしよりを対象に、日常生活の便宜を図るためや緊急時に備えて、必要な用具の給付を行っています。
●給付種目
特殊寝台、エアパット、マットレス、腰掛便座(便器)、特殊尿器、火災警報機、自動消火器、体位変換器、痴呆性老人徘徊感知機、電磁調理器等
詳しくは、役場住民課福祉係まで

年末調整の仕組みと手続き
年末調整は、毎月の給料やボーナスから差し引かれた所得税と、一年間の給与総額に対する年税額との差額を精算するもので、サラリーマンにとっては確定申告に代る大切な手続きです。
①扶養家族に異動のあった人
②各種保険料の控除をうけようとする人
③配偶者特別控除を受けようとする人
などは、勤務先に忘れずに控除申告書を提出してください。詳しくは、最寄りの税務相談室や税務署におたずね下さい。

11月・12月の健康ごよみ

11月

18日(水) 母親教室 ◎

午前9時15分～

20日(金)～21日(土)

子宮がん検診

25日(水) 成人病予防教室

竜崎公民館

午前9時30分

12月

1日(火) 血压デー

成人病予防教室 ◎

午前9時30分～

7日(月) 献血車来村

11日(金) 乳児健診 ◎

午後1時～

◎：保健センター

村のようす (4年10月1日現在)



1,701戸 (-4)



7,665人 (-15)



3,786人 (-10)



3,879人 (-5)



寄付

ありがとうございます
ごぞいませす

左記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

・コミュニ婦人部から

一 万円

・川辺の坂本精一さんから

二 万円

・川辺の坂本亀吉さんから

一 万円

・北須釜の榊枝義二さんから

二 万円

・中の小針保之さんから

三 万円

・吉の鈴木日出夫さんから

二 万円

カタカナ語

・須賀川市の(銜)渋川屋さんから福祉機器展に際して 五千元 (村社会福祉協議会)

・須賀川市の(銜)玉川村長賞

・須賀川市の(銜)湯沢康太(中二年)から最高機密。極秘事項。

・トリッキー…ずる賢い。策略のある。奇をねらった。

今月の納税

国民年金保険料 11月分
国民健康保険税 第5期分
村 県 民 税 第3期分

(納期限は11月25日(水)です。忘れず納めましょう。)

お誕生おめでとう ございます



(10月届出分)

地 区	出生児氏名	保護者名
小 高	遠藤 瞭 <small>りょう</small>	昇 一
岩法寺	鈴木 榊 <small>しおり</small>	尚 利
岩法寺	石森 茜 <small>あかね</small>	守 直
北須釜	草野 佑 <small>ゆう</small> 聡 <small>と</small>	幸 直

おくやみ 申し上げます

(10月届出分)

地 区	死亡者氏名	年 齢	世帯主名
川 辺	坂本 治平	70	精 一
中	小針 實	61	保 之
北須釜	榊 輝子	73	義 二
吉	鈴木 壽次	79	日出男

よく書けたね 「税に関する習字展」

小・中学生の税に対する関心と意識を高めるために、村民文化祭に合わせて「税に関する習字展」が行われました。主な入賞者は次のとおりです。

須賀川税務署長賞

倉 謙 聡 (玉一小一年)

添 田 浩 樹 (玉一小二年)

車 田 恭 子 (玉一小三年)

矢 吹 美 穂 (川辺小四年)

矢 吹 兼 次 (須釜小五年)

瀬 谷 麻 理 子 (須釜小六年)

中学校の部

瀬 谷 ゆ う 子 (須釜中一年)

湯 沢 康 太 (泉 中二年)

瀬 谷 雅 俊 (須釜中三年)

小学校の部

石 井 裕 美 (須釜小一年)

榊 枝 史 子 (須釜小二年)

瀬 谷 友 裕 (須釜小三年)

石 森 希 美 (須釜小四年)

石 井 明 子 (玉一小五年)

車 田 由 希 恵 (玉一小六年)

中学校の部

関 根 秀 文 (泉 中一年)

大 野 晴 子 (須釜中二年)

小 針 ミチ子 (泉 中三年)